



## 7/27 環境をみんなで考える (紺屋川周辺)

高梁、城南、日新の3高校と吉備国際大学が合同で企画した、「キャンドルナイト in 高梁」が行われました。

今年が4回目となるこのイベントは、環境省の提唱で始まった地球温暖化防止の全国運動「100万人のキャンドルナイト」に賛同して行われています。

生徒らが家庭から集めた廃油で作ったキャンドルに火がともされ、紺屋川一帯はオレンジ色の幻想的な空間に包まれました。

## 7/29 食は家族の絆につながる (総合文化会館)

(社)高梁青年会議所創立40周年を記念して、「キッチンから生まれる家族の絆」の演題で料理研究家のコウケンテツさんによる講演が行われました。

講演の中で、「体の弱かった自分のために、母親が体調に合わせた料理を作ってくれたおかげで今では健康な体になった。子どもの食事はとても大切」と話しました。

また、講演後には同会議所主催で行われた写真コンテストの表彰式が行われました。



## 8/4 有漢納涼ふるさと祭 (有漢総合グラウンド)

有漢納涼ふるさと祭(同実行委員会主催)が行われ、浴衣を着た家族連れなど多くの人でにぎわいました。

会場は、市内外からの出店による夜市をはじめ、地元団体などによるステージショーややぐらを中心に松山踊り、やとさ踊りで盛り上がりしました。

祭りの締めくくりには、約700発の花火が打ち上げられ、訪れた人々を魅了しました。

▼まだまだ暑い日が続きそうですが、市内でも熱いイベントが開催されています。出無精の私も広報担当になってからは、いろいろなイベントに行っています。いつも思うのは、運営に携わっている皆さんの苦労。企画から当日の準備、本番、後片付けと本当に大変だと思います。でも、終わった後の満足感もひとしおなのでしょう。(KH)

▼先日、「論語かるた」を作成し、幼稚園などで活用している地域があるという新聞記事を読み、早速取り寄せて5歳になる子どもと挑戦しました。お父さんの不慣れた読みとは対照的に、子どもは数回練習しただけで、かるたが取れるようになりました。この調子だと言葉の意味を覚えるのも子どもに先を越されそうです。(TK)

▼少子高齢化社会。高梁市でも高齢化・過疎化といった問題を多く抱えています。取材で各地域のイベントや取り組みを取材することがありますが、どの地域もこういった問題解決に向けて取り組みを積極的に行っています。みんなの地域を次世代に引き継ぐために「地域のこと。自分たちのこと。次世代のこと。」一人一人が考え、行動していければと思います。(KY)

**編集後記**

# カメラあらから

Camera A la carte

## まちの出来事



## 7/10 ペタンクって楽しいね (正宗公園)

「日新ツデー in 栄町〜ペタンクを楽しもう〜」が行われ、日新高校ペタンク同好会の高校生3人が小学生8人と触れ合いました。

ペタンクはフランス生まれのニュースポーツで、ピュットと呼ばれる目標玉に野球ボール大の鉄球を投げて近さを競う競技です。

高校生にルールを教してもらいながら、繰り返し練習を行った後に試合を行いました。はじめての体験に戸惑いながらも楽しそうな声が響いていました。

## 7/17 ドイツ訪問の川内野さんを激励 (市役所)

日独スポーツ少年団同時交流(日本体育協会日本スポーツ少年団など主催)で8月1日〜18日の間、ドイツを訪問する高梁高校3年川内野菜保さんの激励会が行われました。

高梁野外活動スポーツ少年団に所属する川内野さんは、県代表としてドイツ東部のザクセン州などへ赴き、民泊をしながら現地の若者とスポーツを通じた交流や、地域の視察や文化研修に取り組む予定になっています。



## 7/22 美しい景観を未来へつなぐ (成羽町吹屋)

地域の景観を生かしたまちづくりについて考えることを目的に、景観ワークショップ「えがこう! たかはしの未来」が行われました。

参加した15人の市民は、「銅とベンガラ生産で栄えた成羽町吹屋地区」をテーマに地域の景観について、良い点や課題、目指すべき方向について意見を交わしました。

この日の意見は、市が策定を進める景観計画の策定委員会に報告されます。